

# NO! オスプレイ



## 首都圏の空を

# オスプレイ27機が飛び回る!!

沖縄普天間飛行場に24機、横田基地のCV-22 オスプレイ10機、木更津駐屯地に17機と日本の空はオスプレイだらけになります。

木更津駐屯地は、すでに米軍の沖縄にあるオスプレイ24機の、そして陸上自衛隊が導入するオスプレイ17機の“整備拠点”に。そして更に、木更津市長や森田知事が勝手に受け入れを表明しているが暫定配備でオスプレイ17機が実戦配備(2019年度中にオスプレイ部隊を新編)されたらオスプレイの一大拠点になってしまいます。

オスプレイの危険性・騒音からも生活環境が壊されます。又、一機200億円と言い値でトランプ大統領から買わされるオスプレイは“平時から戦時までの日米軍事一体化”の象徴でもあり、毎年5兆円以上の防衛予算で作られる戦争をする国への道です。

木更津基地だけでなく今あるヘリ-CH47と同じようにオスプレイは習志野基地でも、南房総(君津と鴨川市を結ぶ線から南)一帯で、九十九谷・宇藤原・大沢場外離着陸訓練場でも飛び回るので。そして更に富士演習場・相馬が原演習場・関山演習場まで飛んでいく空路の下の市町村はオスプレイの危険と騒音を見上げることになるのです。



防衛省ははっきりと「オスプレイは習志野空挺団と一緒に活動する」と説明会で住民に語りました。習志野空挺団の落下傘部隊の訓練では“入間一帯総一習志野”と下総基地が使われています。2019年7月以降なぜか木更津第一ヘリコプター団のヘリコプターが下総基地に着陸し飛び立つことを繰り返しています(今まで一度もなかったのになぜ?..).

事故率 3.24 “空飛ぶ棺おけ” オスプレイは全エンジンが止まったときのオートローテーション機能がありません。それなのに防衛省は「オートローテーションがあります」とフエイクの安全説明。

低周波の騒音はこれまでのP3Cとはまったく違ういやなうるさい騒音です。

清水鎌ヶ谷市長は数年前の一般質問に答える形で「オスプレイの配備には反対です」とその立場を表明しています。

木更津市長や森田知事が県民・市民の反対の声に耳を傾けず“暫定配備受け入れ”を表明した(2019年12/25)のは許せません。県民の声・市民の声・市民の意思は“オスプレイの実戦配備(暫定配備)反対”なのです。木更津・習志野・千葉県が一大軍事拠点にならないようオスプレイ反対の声を上げていきましょう!

「民主主義と自治そして平和主義」ふじしろ政夫 047-445-9144

\*活動報告をホームページに掲載「いい鎌ヶ谷ふじしろ政夫」でアクセスできます。